令和7年小田原市議会3月臨時会

小田原市 企業会計 補正予算

目 次

各会計予算集計表	1
病院事業会計補正予算	3

各会計の予算に関する説明書

企 業 会 計

病院事業会計	5
--------------	---

令和6年度各会計予算集計表

(単位 千円)

会 計 名		補 正 前 の 額	補 正 額	計
一 般 会 計		88,686,967		88,686,967
特 別 会 計	競 輪 事 業 特 別 会 計	27,693,158		27,693,158
	天 守 閣 事 業 特 別 会 計	178,633		178,633
	国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	20,767,291		20,767,291
	国 民 健 康 保 険 診 療 施 設 事 業 特 別 会 計	32,062		32,062
	公 設 地 方 卸 売 市 場 事 業 特 別 会 計	218,383		218,383
	介 護 保 険 事 業 特 別 会 計	18,519,847		18,519,847
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 特 別 会 計	5,810,786		5,810,786
	公 共 用 地 先 行 取 得 事 業 特 別 会 計	209,180		209,180
	広 域 消 防 事 業 特 別 会 計	4,987,124		4,987,124
	地 下 街 事 業 特 別 会 計	675,000		675,000
	計	79,091,464		79,091,464
企 業 会 計	水 道 事 業 会 計	7,163,322		7,163,322
	病 院 事 業 会 計	27,738,820		27,738,820
	下 水 道 事 業 会 計	11,953,941		11,953,941
	計	46,856,083		46,856,083
合 計		214,634,514		214,634,514

令和 6 年度小田原市病院事業会計補正予算

(総 則)

第 1 条 令和 6 年度小田原市病院事業会計の補正予算は、次に定めるところによる。

(資本的収入及び支出)

第 2 条 予算第 4 条本文括弧中「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 728,258 千円」を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 4,428,258 千円」に、「当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 16,723 千円、過年度分損益勘定留保資金 711,535 千円」を「当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 16,723 千円、過年度分損益勘定留保資金 1,145,324 千円、当年度分損益勘定留保資金 858,948 千円、減債積立金取崩額 261,737 千円、建設改良積立金取崩額 2,052,422 千円、繰越利益剰余金処分額 93,104 千円」に改め、資本的収入の予定額を次のとおり補正する。

(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
	収	入	
第 1 款 資本的収入	11,269,732 千円	△3,700,000 千円	7,569,732 千円
第 1 項 企業債	9,596,300 千円	△3,700,000 千円	5,896,300 千円

(企業債)

第3条 予算第6条に定めた起債の限度額を次のとおり改める。

起債の目的	補 正 前				補 正 後			
	限度額	起債の方法	利 率	償還の方法	限度額	起債の方法	利 率	償還の方法
施設整備事業費	千円 9,012,600	普通貸借又は債券発行。 事業の進捗その他の都合により起債前借又は翌年度に繰り越して借り入れることができる。	5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金についてはその融通条件により、銀行その他の場合にはその債権者との融通条件による。 ただし、市財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、若しくは繰上償還をすること又は低利債に借り換えることができる。	千円 5,312,600	補 正 前 に 同 じ		

(利益剰余金の処分)

第4条 繰越利益剰余金のうち93,104千円は、次のとおり処分するものと定める。

- (1) 建設改良積立金 93,104千円

令和 7 年 3 月 2 8 日 提出

小田原市長 加 藤 憲 一

各会計の予算に関する説明書

令和6年度小田原市病院事業会計補正予算実施計画

資本的收入

款	項	目	補正予定額	備 考
1 資本的收入			千円 △ 3,700,000	
	1 企 業 債		△ 3,700,000	
		1 企 業 債	△ 3,700,000	

令和6年度小田原市病院事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益又は当年度純損失 (△は当年度純損失)	△ 346,914
減価償却費	805,791
固定資産除却費	20,000
貸付金の返済免除	3,900
長期前払消費税等の増減額 (△は増加)	△ 908,255
引当金の増減額 (△は減少)	90,629
長期前受金戻入額	△ 67,747
支払利息	42,987
未収金の増減額 (△は増加)	△ 2,127,303
未払金の増減額 (△は減少)	27,888
預り金の増減額 (△は減少)	△ 342
たな卸資産の増減額 (△は増加)	<u>1,530</u>
小計	△ 2,457,836
利息の支払額	<u>△ 42,987</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,500,823

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 8,305,771
貸付金の支出	△ 7,560
貸付金の回収による収入	1,500,720
国庫補助金等による収入	1,572,661
寄附金による収入	51
基金造成費による支出	△ 1,361
補助金等の返還	<u>△ 19,965</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,261,225

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	6,355,600
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 410,001
一般会計からの繰入金による収入	100,000
リース債務の償還による支出	<u>△ 217,837</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,827,762

資金増加額(又は減少額)	△ 1,934,286
資金期首残高	<u>13,483,801</u>
資金期末残高	11,549,515

継 続 費 に 関 す る 調 書

(単位 千円)

款 項	事 業 名	区 分	全 体 計 画				前 前 年 度 末 末 年 度 支 支 義 義 払 払 務 務 生 生 額 額	前 年 度 末 末 年 度 支 支 義 義 払 払 務 務 生 生 額 額 (見込)額	当 該 年 度 支 支 義 義 払 払 務 務 生 生 額 額 予 定 額	当 該 年 度 末 末 年 度 支 支 義 義 払 払 務 務 生 生 額 額 予 定 額	翌 年 度 以 以 降 降 支 支 義 義 払 払 務 務 生 生 額 額 予 定 額	継 続 費 の 総 額 に 対 する 進 捗 率 %	
			年 度	年 割 額	左 の 財 源 内 訳								
					企 業 債	国 庫 支 出 金							損 益 勘 定 留 保 資 金 等
1 1 資 建 本 設 的 改 支 良 出 費	新 病 院 建 設 事 業	補 正 前 の 額	5	781,200	781,200				781,200	781,200		2.9	
			6	10,333,200	8,779,500	1,553,589	111			10,333,200	10,333,200		37.7
			7	16,288,131	13,888,100	2,400,000	31					16,288,131	59.4
			計	27,402,531	23,448,800	3,953,589	142		781,200	10,333,200	11,114,400	16,288,131	100.0
		補 正 額	5										
			6		△3,700,000			3,700,000					
			7										
			計		△3,700,000			3,700,000					
		補 正 後 の 額	5	781,200	781,200					781,200	781,200		2.9
			6	10,333,200	5,079,500	1,553,589	3,700,111			10,333,200	10,333,200		37.7
			7	16,288,131	13,888,100	2,400,000	31					16,288,131	59.4
			計	27,402,531	19,748,800	3,953,589	3,700,142		781,200	10,333,200	11,114,400	16,288,131	100.0

令和6年度小田原市病院事業予定貸借対照表（当年度分）

（令和7年3月31日）

（単位 千円）

資 産 の 部

1 固 定 資 産

（1）有形固定資産

ア 土 地		376,509	
イ 立 木		7,996	
ウ 建 物	10,036,148		
減価償却累計額	<u>△ 8,259,723</u>	1,776,425	
エ 構 築 物	370,937		
減価償却累計額	<u>△ 339,733</u>	31,204	
オ 器 械 備 品	6,491,162		
減価償却累計額	<u>△ 5,074,338</u>	1,416,824	
カ 車 両	3,364		
減価償却累計額	<u>△ 2,428</u>	936	
キ リ ー ス 資 産	3,388,116		
減価償却累計額	<u>△ 877,230</u>	2,510,886	
ク 建 設 仮 勘 定		12,452,695	
有形固定資産合計			18,573,475

（2）投資その他の資産

ア 貸 付 金	25,245		
奨学金返済免除引当金	<u>△ 8,160</u>	17,085	
イ 長 期 前 払 消 費 税		1,248,772	
ウ 基 金		<u>7,259</u>	

投資その他の資産合計 1,273,116

固 定 資 産 合 計 19,846,591

2 流 動 資 産

（1）現金預金 11,549,515

（2）未収金 4,718,497

貸倒引当金 △ 17,000 4,701,497

（3）貯蔵品 49,474

流 動 資 産 合 計 16,300,486

資 産 合 計 36,147,077

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に 8,272,248

充てるための企業債

企業債合計 8,272,248

(2) リース債務 2,239,870

(3) 引当金

ア 退職給付引当金 2,499,771

引当金合計

2,499,771

固定負債合計

13,011,889

4 流動負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に 321,652

充てるための企業債

企業債合計 321,652

(2) リース債務 276,075

(3) 未払金 3,811,976

(4) 引当金

ア 賞与引当金 375,790

イ 法定福利費引当金 63,672

引当金合計

439,462

(5) その他流動負債

ア 預り金 16,762

その他流動負債合計

16,762

流動負債合計

4,865,927

5 繰延収益

(1) 長期前受金

2,006,074

繰延収益合計

2,006,074

負債合計

19,883,890

資 本 の 部

6 資 本 金		4,872,662
7 剰 余 金		
(1) 資 本 剰 余 金		
ア 受 贈 財 産 評 価 額	29,995	
イ 寄 附 金	2,583	
ウ 補 助 金	<u>166,747</u>	
資 本 剰 余 金 合 計		199,325
(2) 利 益 剰 余 金		
ア 利 益 積 立 金	6,500,000	
イ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>4,691,200</u>	
利 益 剰 余 金 合 計		<u>11,191,200</u>
剰 余 金 合 計		<u>11,390,525</u>
資 本 合 計		<u>16,263,187</u>
負 債 資 本 合 計		<u><u>36,147,077</u></u>

注記

I. 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く。）

・減価償却の方法 定額法

・主な耐用年数

建物 15～49年

構築物 10～50年

器械備品 2～21年

車両 2～6年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く。）

・減価償却の方法 定額法

(3) リース資産

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上する。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき当年度の負担に属する額を計上する。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支払に備えるため、当年度末における支払見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上する。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率により回収不能見込額を計上する。

(5) 奨学金返済免除引当金

奨学金の返済免除による損失に備えるため、返済免除対象者となる採用者を見込み、返済免除予定相当額を計上する。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式による。

II. 予定キャッシュ・フロー計算書等関連

重要な非資金取引

当年度、新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、それぞれ

5,940千円、5,940千円である。

Ⅲ. 予定貸借対照表等関連

1 長期前受金収益化累計額 659,660千円

2 給与費に係る引当金の取崩し

(1) 退職給付引当金の取崩し

当年度において、退職手当として248,744千円を支給する見込みであり、退職給付引当金248,744千円を取り崩す見込みである。

(2) 賞与引当金の取崩し

当年度において、期末手当及び勤勉手当として1,281,729千円を支給する見込みであり、賞与引当金345,665千円を取り崩す見込みである。

(3) 法定福利費引当金の取崩し

当年度において、法定福利費として1,051,748千円を支払する見込みであり、法定福利費引当金61,928千円を取り崩す見込みである。

Ⅳ. リース契約により使用する固定資産

1 リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理による。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

2 リース会計に係る経過措置

リース取引開始日が平成26年3月31日以前のリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

令和6年度小田原市病院事業
資本的

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計
1	資 本 的 収 入		千円 11,269,732	千円 △ 3,700,000	千円 7,569,732
	1	企 業 債	9,596,300	△ 3,700,000	5,896,300
		1 企 業 債	9,596,300	△ 3,700,000	5,896,300
		計	11,269,732	△ 3,700,000	7,569,732

会計補正予算説明書

収入

節		備 考
区 分	金 額	
	千円	千円
企 業 債	△ 3,700,000	